

西口彰子(ソプラノ)

小山市出身。宇都宮女子高等学校卒業。東京藝術大学卒業後、渡米。マネス音楽院修士課程、及びプロフェッショナル・スタディ・ディプロマコース修了。アメリカ、ヨーロッパにて活動、数々のコンクールに受賞。東京フィルハーモニー交響楽団、東京藝大シンフォニーオーケストラ、群馬交響楽団、MCFオーケストラとちぎ等と共演。2009年よりリサイタルや自身がプロデュースするコンサートを展開。歌を通して心身の動きに深い興味を持ち、2019年英国アレクサンダーテクニーク協会(STAT)公認、教師資格を取得。2020年より小山・東京にて「アレクサンダーテクニークと歌」教室を開講。コンサートやオペラのソリスト、またワークショップの講師としても活躍中。2020年トリオユニット Le Tre Grazie を結成、2021年1月ファーストアルバムをリリース予定。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。二期会会員。 公式HP: <http://akiko-nishiguchi.net>

Cellox8(チェロエイト)

チェロの名手により2017年結成された。メンバーを変えながら、これまで足利、宇都宮、東京と公演している。チェロアンサンブルの名曲を演奏しながら、今後もチェロの魅力を広く伝えていく。

小林幸太郎

桐朋学園大学音楽部を首席で卒業。泉の森チェロコンクールにてコンクール史上最初に全部門に優勝。その他全日本学生音楽コンクール、モーツァルト国際室内楽コンクールをはじめとする多数のコンクールに優勝、入賞を果たす。霧島国際音楽祭、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、等国内の音楽祭、その他アメリカ、イタリヤ、ドイツ、フランス各国の音楽祭に出演、楽曲の提供を行う。チェロを倉田澄子氏に師事。桐朋学園チェロアンサンブルの常任アレンジャー、コンサートマスターを経て、現在チェリスト、作編曲家として国内外多数のアーティスト、団体と共演。音楽制作に携わっている。

佐藤万衣子

佐野市出身。11歳からチェロを始める。東京音楽大学器楽科チェロ専攻卒業。3,4年、特待生奨学金を授与される。また短期留学特別奨学金を得て、オーストリア国立モーツァルトウム・ザルツブルク国際音楽サマー・アカデミーにて研鑽を積む。桐朋学園大学音楽学部研究科修了。チェロは尾形篤信氏、三木敬之氏、荻田雅治氏、ドミトリー・フェイギン氏に師事を受ける。室内楽を齋藤真知亜氏、百武由紀氏、堀介氏、細川順三氏に師事。現在、ミュージカルや様々なアーティストのレコーディングやライブに出演をする他、fiola弦楽四重奏やピアノトリオの編成でディナーショー、ライブなど積極的に行なっている。

玉川 克

5歳より才能教育研究会にてチェロをはじめ。宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。室内楽奏者として非常に多くの演奏会に携わっており、2003年に結成した昴21弦楽四重奏団では、東京、山形、仙台、宇都宮、横浜でのコンサートを毎年開催。近年新たに、出身地である栃木県において本格的な室内楽コンサートを届ける「玉川克の室内楽シリーズ」を主宰、毎年3回のコンサートを開催している。その他、客演首席奏者として国内の主要オーケストラから招聘されるほか、クラシック、ポップスなどジャンルを問わずレコーディングへの参加多数。那珂川町ふるさと大使。
玉川 克 ホームページ <http://www.celloutama.com>

篠崎由紀

桐朋女子高等学校音楽科、及び桐朋学園大学音楽学部を卒業。ウィーン市立音楽院を経て、ドイツ国立ロツシゲン音楽大学を首席で卒業。在学中より、ヨーロッパ各地でリサイタルやオーケストラとの共演等を行い注目を浴びる。帰国後、ソロ、室内楽で日本各地のコンサートに多数出演。日本各地のオーケストラの客演首席奏者を務める。その他の分野での活動にも積極的で、年間数百曲のスタジオレコーディングを行う他、坂本龍一等、多数のアーティストのツアーにも参加している。ACADEMYを設立し、後進の指導も行っている。SHINOZAKI MUSIC ACADEMY代表。

町田正行

足利市出身。7歳よりチェロを始める。東京音楽大学卒業。1995,1997年、クオアチアでの夏期講習会に参加し、ディプロマを取得する。現在は後進の指導の他、室内楽やオーケストラ、また国内外のアーティストとの共演などジャンルを問わない幅広い活動を展開している。足利カンマーオーケスターチェロ奏者、東京ニューシティ管弦楽団チェロ奏者。

松本恒瑛

東京音楽大学卒業、及び同大学院修士課程修了。ドイツ、ベルギーの音楽祭にソロ出演。サントリーホールコンサート・レインボウ21出演。東京都高等学校文化連盟文化功労章受章。日本クラシック音楽コンクール3位(最高位)、横浜国際音楽コンクール室内楽部門入賞。大阪国際音楽コンクール室内楽部門入選。元新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員。現在、群馬交響楽団団員。これまでにチェロを佐藤満、倉田澄子、松波恵子、堀介、植木昭雄の各氏に師事。室内楽を浦川宜也、齋藤真知亜の各氏に師事。

三森未来子

東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院を修了。ローザンヌ夏期音楽アカデミー、ザルツブルク、リュベック、草津などの夏期音楽アカデミーにて研鑽を積む。1988年シメヌ・ストリング・カルテットメンバーとして第1回淡路島国際室内楽コンクールにて第1位。併せて兵庫県知事賞を受賞。以来、「東京の夏」音楽祭、NHK-FMをはじめ、メンバーとして活動。1992年より定期的にソロリサイタルを開催、現在に至る。2006年よりパッパ無伴奏リサイタルを始め、2010年浜離宮朝日ホールでの演奏も好評を博す。現在は、林峰男との四重奏Cello4、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウメンバー。東京音楽大学非常勤講師。

三宅進

桐朋学園、インディアナ大学にてヤーノシュ・シュタルケル、木越洋、安田謙一郎の諸氏の薫陶を受ける。新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者、イソ弦楽四重奏団チェリストを歴任。現在はソリストとしてリサイタル、室内楽等のほか、世界的外来アーティストとの共演など幅広い分野で活躍している。海外での公演も多く、ヨーロッパ、アメリカ、アジア各地でのリサイタル、オケの共演などはいずれも高い評価を受けている。2012年公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団首席奏者に就任。翌2013年よりソロ首席奏者。武蔵野音楽大学非常勤講師。音楽監督を務める仙台市宮城野区文化センター主催の室内楽シリーズ「Music From PaToNa」が2015年第4回サントリー&ウィーンフィル音楽復興祈念賞を受賞。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための取り組み・ご来場の皆様へお願い

本公演は厚生労働省のガイドラインに基づき、感染拡大防止策を取り実施いたします。今後の状況によっては、公演が中止または延期になる場合がございます。最新の情報を西口彰子公式ホームページ「News」や下記のfacebookイベントページ(QRコード)よりご確認ください。

■感染拡大予防にご協力をお願いします。

- *マスクの着用、手洗い、手指の消毒、咳エチケットの徹底をお願い致します。
- *入場の際にお客様の検温を致します。 *お客様同士の距離の確保にご協力ください。
- *万が一に備え、ご来場者様の御連絡先を頂戴いたします。(チケット裏面)
- *チケットはスタッフが目視で確認した後、お客様自身でもぎって頂き、ボックスにお入れ下さい。
- *パンフレット、チラシ等の配布は手渡しではなく、設置での配布になります。
- *館内での大きな声での会話やご声援はお控えください。 *出演者への面会や、差し入れ等の手渡しはご遠慮ください。
- *ソーシャルディスタンスのため、会場が寒く感じる場合がございます。暖かくしてお出かけください。



■下記のいずれかに該当する方はご入場をお断り致します。

- *37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻水・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔吐・吐気、目の痛みや結膜の充血などの、症状のある方
- *新型コロナウイルス陽性とされた方との濃厚接触等、他者との接触を控えるよう求められている方
- *過去2週間以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方